

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2002-530453(P2002-530453A)

【公表日】平成14年9月17日(2002.9.17)

【出願番号】特願2000-582457(P2000-582457)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 L 57/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

C 0 8 L 85/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 J 5/00 C E R

C 0 8 J 5/00 C E Z

C 0 8 K 5/521

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 57/00

C 0 8 L 67/00

C 0 8 L 85/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

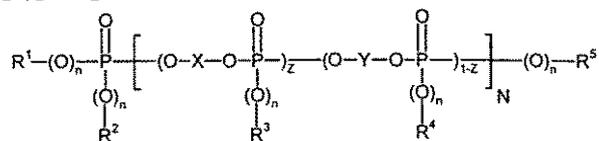
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】芳香族ポリ(エステル)カーボネート、10未満のガラス転移温度を有する、1種以上のグラフトベースへの1種以上のビニルモノマーのグラフトポリマー、熱可塑性ビニル(コ)ポリマーおよびポリアルキレンテレフタレートから成る群より選択される少なくとも2つの成分と、更なる成分として、下記の式(I)のリン化合物0.5~20重量部を含有する熱可塑性成形用組成物。

【化1】



(式中、XおよびYは、炭素数6~30の単核または多核の芳香族基を表し、そしてXとYは互いに異なり、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 および R^5 は、互いに独立して、場合によりハロゲン化された C_1 ~ C_8 アルキル、あるいはそれぞれ任意にハロゲンおよび/または C_1 ~ C_4 アルキルで置換された C_5 ~ C_6 シクロアルキル、 C_6 ~ C_{20} アリアルもしくは C_7 ~ C_{12} アラルキルを表し、zは、0.05~0.95、好ましくは0.15~0.85を表し、nは、互いに独立して、0または1、好ましくは1を表し、そしてNは、0.5~30を表す。)

【請求項2】 A . 芳香族ポリカーボネートまたはポリエステル - カーボネート 5 ~ 95 重量部、

B . B . 1 1 種以上のビニルモノマー 5 ~ 95 重量%の

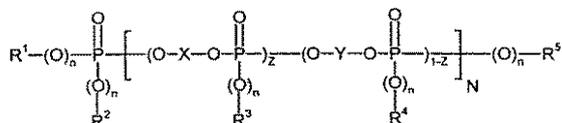
B . 2 ガラス転移温度 ≤ 10 未満を有する 1 種以上のグラフトベース 5 ~ 95 重量%

へのグラフトポリマー 0.5 ~ 60 重量部、

C . 熱可塑性ビニル (コ) ポリマーおよび / またはポリアルキレンテレフタレート 0 ~ 50 重量部、

D . 下記の式 (I) :

【化 2】



(式中、XおよびYは、炭素数6~30の単核または多核の芳香族基を表し、そしてXとYは互いに異なり、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 および R^5 は、互いに独立して、場合によりハロゲン化された $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルキル、あるいはそれぞれ任意にハロゲンおよび / または $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキルで置換された $\text{C}_5 \sim \text{C}_6$ シクロアルキル、 $\text{C}_6 \sim \text{C}_{20}$ アリアルもしくは $\text{C}_7 \sim \text{C}_{12}$ アラルキルを表し、zは、0.05~0.95、好ましくは0.15~0.85を表し、nは、互いに独立して、0または1、好ましくは1を表し、そしてNは、0.5~30を表す。)

のリン化合物 0.5 ~ 20 重量部、

E . フッ素化ポリオレフィン 0.05 ~ 5 重量部

(前記の全成分の重量部の和は100である)

を含有する熱可塑性成形用組成物。

【請求項3】 式 (I) のリン化合物が、平均N値0.5~10のリン化合物の混合物である請求項2に記載の成形用組成物。

【請求項4】 グラフトベースB.2が、ジエンゴム、アクリレートゴム、シリコーンゴムまたはエチレン / プロピレン / ジエンゴムである請求項2~3のいずれかに記載の成形用組成物。

【請求項5】 周期表の主分類第1~第5類または副分類第1~第8類と、酸素、硫黄、ホウ素、炭素、リン、窒素、水素およびケイ素から成る群より選択される少なくとも1つの元素との非常に細かく分割された化合物を含有する請求項1~4のいずれかに記載の成形用組成物。

【請求項6】 安定化剤、顔料、離型剤、流動助剤、無機強化材料、ナノ粒子および / または帯電防止剤から成る群より選択される少なくとも1種の添加物を含有する請求項1~5のいずれかに記載の成形用組成物。

【請求項7】 請求項1~6のいずれかに記載の成形用組成物から製造された成形物品。